

## 令和2年度成果報告 建設環境課総括

### 1. 建設関係

木曾建設事務所が平成19年度から整備を進めてきた木曾川右岸道路「川向工区」1.8km区間の完成式が令和2年12月6日に現地で行われた。この川向工区の完了によって林道区間を含めた高瀬橋（川向）から柿其橋（戸場）までの約5キロが開通し、沿線の柿其・戸場・榑野集落から南木曾町中心部へのアクセス性が大きく向上して国道19号の通行止め時には代替道路として交通確保が図られることになった。（令和3年5月21日の豪雨災害時には国道19号が通行止めとなり、迂回道路として早速その機能を発揮した。）

また、木曾建設事務所が平成22年度から計画し、平成27年度から工事着手した沼田地区の岩戸沢通常砂防事業が令和3年3月11日に竣工した。人家13戸、沼田集会所や町道沼田線の重要インフラに対し整備をしたことで、レッドゾーン(特別警戒区域)が解消された。

さらに、JR東海のリニア中央新幹線計画に伴う関連工事として町道榑野線改良工事が実施された。

#### (町道関係)

- ・道路維持補修工事52箇所、舗装修繕工事57箇所を行った。
- ・与川線(与川1区)・口広瀬寺線(広瀬)の舗装補修工事を実施した。
- ・国土強靱化事業与川線の詳細設計を実施した。
- ・橋梁点検36橋、補修工事3橋、桃介橋補修工事を実施した。
- ・除雪対策事業は、大雪の影響で昨年比3.2倍の支出となった。

#### (町道関係令和元年度繰越事業)

- ・工事4本（沼田線防災、柿其溪谷線改良、向栗畑線改良、桃介橋補修）を実施した。
- ・設計1本（橋梁修繕に伴う設計）を実施した。

#### (町河川関係)

- ・県森林税による県単河畔林整備事業を長根沢(塚野地区)で実施した。

#### (災害復旧事業)

- ・6月11～14日豪雨災害（14箇所）、6月30日豪雨災害（2箇所）、7月8日豪雨災害（5箇所）、7月21日豪雨災害（3箇所）、7月28日豪雨災害（3箇所）5回被災し、総計27箇所 総額8,485千円となった。

#### (国 関係)

- ・「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」による国の第3次補正予算が令和3年1月28日に成立し、5箇所について採択され内示を受けた。これに伴い、2月補正予算により明許繰越をして事業を行うこととなった。
- ・直轄砂防事業では、2箇所です工事、3箇所です詳細設計、4箇所です調査測量が行われた。

#### (県 関係)

- ・木曾川右岸道路整備事業は、県代行事業として長野県が平成19年度から計画を進めた町道川向榑野線改築工事が竣工し、12月6日に完成式を開催した。
- ・(主)中津川田立線は、道路築造工事、大滝川橋梁の下部工事（橋脚1基、橋台1基）が実施された。
- ・(主)中津川南木曾線は、滝上橋工区で道路築造工事と橋梁工（中山道）が実施された。

### (リニア中央新幹線工事 関係)

- ・町道棚橋線改良工事（広瀬工区）が8月末から約1年間に渡る工事が実施された。
- ・町道起線（尾越工区）の待避所造成工事等が2月末から開始された。

#### 2. 住宅関係

- ・公営住宅新町団地2棟4戸の屋根塗装工事を実施した。
- ・ユーアイ住宅越野団地2棟4戸の改修工事を実施した。
- ・町営住宅下切団地1棟1戸の除却工事を実施した。
- ・住宅リフォーム補助金を6戸に交付した。

#### 3. 環境衛生関係

- ・ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より7.4tの減少、生ごみが前年度より12.2tの減少、不燃ごみが7.2tの増加となった。また、資源ごみの回収は5.0tの減少となった。
- ・環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を実施した。また、ポイ捨て防止監視パトロールを実施した。
- ・胡桃田水道取水施設設置工事は9月に地元説明会を開催し12月に入札を実施した。（令和3年度繰越事業）
- ・小規模水道全体計画の策定状況と今後の方針について9月議会で説明を行った。

#### 4. 特別会計

##### ○簡易水道事業特別会計

- ・令和3年度に公営企業会計へ移行のため、移行に必要なシステム導入業務、システム開発業務、移行支援業務を委託した。
- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議のうえ、水道水源の取水施設等基本設計の具体的な検討に入った。
- ・大沢田橋水管橋移設工事設計業務を委託した。
- ・大山高区浄水場流量計及び配水管移設工事設計業務を委託した。
- ・地蔵沢第1砂防堰堤工事用道路築造に伴う給水管布設工事設計業務を委託した。
- ・県道南木曾（停）線改良工事伴う水管橋布設工事を実施した。

##### ○下水道事業特別会計

- ・令和3年度に公営企業会計へ移行のため、移行に必要なシステム導入業務、移行支援業務を委託した。
- ・計画的な設備更新を行うため、ストックマネジメント修繕・改築計画策定業務を委託した。

##### ○農業集落排水事業特別会計

- ・令和3年度に公営企業会計へ移行のため、移行に必要なシステム導入業務、移行支援業務を委託した。
- ・蘭浄化センター回分槽流入電動弁を更新した。

#### ○浄化槽市町村整備推進事業特別会計

- ・令和3年度に公営企業会計へ移行のため、移行に必要なシステム導入業務、移行支援業務を委託した。
- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽10基（うち1基は入替）を整備した。（町整備分536基）
- ・今年度、寄付による町管理型への移管は5基。（町への移管分257基）

#### 【評価】

- ・木曾川右岸道路の川向榑野線改良事業として県代行事業として実施されていた川向工区の工事が完了し供用開始され通行が開始された。今後は川向地区から田立方面へのルート確定に向けて引き続き県・関係機関への要望・働きかけが重要である。
- ・国道19号は国交省により神戸視距改良事業が進められている。雨量規制区間（吾妻橋から岐阜県坂下までの6.5km）の規制解消に向けた検討の要望の継続が必要である。
- ・国土強靱化事業は3箇年緊急対策として町道天白川向線防災工事、町道沼田線法面対策工事を実施した。令和3年度は町道与川線防災工事の実施を予定している。
- ・リニア中央新幹線事業に伴い広瀬口側の町道棚橋線改良事業や、尾越口側の町道起線の一部拡幅工事等の調整を行った。水道水源の予備的措置について関係課とともにJRと協議を行った。町道改良に関しては工事に伴う迂回路の設定や期間について地元住民との調整や、水道水源については影響が懸念される簡易水道の3水源の水量確保を念頭にJR等関係機関との綿密な協議が必要である。
- ・住吉町のユアアイ住宅建設は議会からの場所や建物の構造などの提案・意見も踏まえながら工事を発注することができた。（次年度へ繰越事業）
- ・小規模水道は各水道組合の現状をよく把握しながら将来の施設維持管理の在り方について協議・検討が必要である。
- ・特別会計4会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）について、公営企業会計への移行作業を行い年度内に完了した。今後は適正な会計管理に努めながら財務・事業内容の健全化を常に意識した事業運営が必要である。

## 8 建設環境課所管

### 1. 建設関係

#### (1) 道路関係

##### ① 町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、道路メンテナンス事業補助を活用し橋梁点検・補修を実施した。

重要インフラに対する国土強靱化事業を沼田線、与川線で実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

町道川向椰野線：高瀬橋架替（県代行事業）を中心とした事業推進を図るため、令和3～7年度の5か年間の地域再生計画（道整備交付金）を作成した。

道路維持補修事業	22,333千円	（台帳整備含む）
道路舗装事業	29,400千円	
国土強靱化事業	11,047千円	
道路改良事業	7,611千円	
除雪対策事業	35,406千円	
県営工事付帯事業	3,943千円	
橋梁維持補修事業	42,551千円	
2年度事業費計	152,291千円	（明細別紙参照）
2年災害復旧費	14,594千円	（明細別紙参照）
元年度繰越事業	72,276千円	（明細別紙参照）

##### 現年度事業

- ・道路維持補修工事では、側溝修繕やホットホール等の町道補修事業を行った。
- ・道路新設改良工事では、蘭線の詳細設計及び島の平線の概略設計調査を実施した。また、大原線の用地測量及び用地買収を実施した。
- ・舗装工事では、与川線(島の橋～三和自動車下)・口広瀬寺線(赤坂八千代宅～垂見弘幸宅)の舗装補修工事を実施した。
- ・国土強靱化工事では、与川線の防災工事の詳細設計を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、橋梁点検(大水上跨線橋他)、漆畑橋・地蔵沢橋・119号橋の補修工事、桃介橋補修工事及び、宮の沢橋他2橋の設計調査を実施した。
- ・除雪対策事業は、近年稀にみる大雪の影響で除雪件数・日数及び費用が増となった。融雪剤散布車による路面凍結の予防に力を入れた。

##### 繰越事業

- ・沼田線防災工事、柿其溪谷線改良工事、向栗畑線改良工事を実施した。
- ・橋梁維持事業では、桃介橋補修工事を実施した。

##### ② 国道

###### 【一般国道19号】

渡島信号上の防災工事が実施された。

南木曾大橋及び与川渡橋の橋梁修繕工事が実施された。

###### 【一般国道256号】

道路改良（漆畑拡幅）、災害防除交通安全事業（さわら橋下他7箇所）、防災・安全交付金舗装修繕事業（妻籠第2駐車場前）等が実施された。

##### ③ 県道

###### 【主要地方道 中津川南木曾線（馬籠峠～下り谷拡幅）】

道路築造工が実施された。

###### 【主要地方道 中津川田立線】

道路築造工、大滝川橋梁（橋梁下部工事）が実施された。

【一般県道 上松南木曾線（読書ダム～戸場）】

道路詳細設計、橋梁・交差点詳細設計、トンネル詳細設計、用地買収、物件補償が実施された。

【県代行 木曾川右岸道路（町道川向椰野線）】

道路改築事業（川向）が竣工し、12月6日に完成式を開催した。

【一般県道南木曾停車場線（大沢田橋）】

歩道橋設置のための用地補償及び水道仮設管の切回し工事が実施された。

(2) 砂防・河川・災害関係

① 町単河川改修事業

【準用河川改修】

県単河畔林整備事業を長根沢(塚野地区)の支障木伐採を実施した。河川内と民地を一体的に整備し、倒木による栓塞の危険箇所を解消した。

伊勢小屋沢(天白地区)及び戦沢(神戸地区)の支障木伐採及び地蔵沢陥没補修を実施した。

2年度事業費 3, 800千円 (明細別紙参照)

② 直轄砂防事業

【砂防事業】……………本体工事

事業概要 額付第1砂防堰堤改築・和合蛇抜沢沈砂地取付道路工

【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 桂川第1砂防堰堤・地蔵沢第1砂防堰堤・小梨子沢流路工・与川・戦沢・砂地沢・かくぞれ沢

③ 県砂防・河川事業

【砂防事業】……………本体工事 岩戸沢（沼田）堰堤

H27年度から5年間工事を実施し完成した。(令和3年5月29日に完成式を行った。)

【緊急浚渫事業】……………木曾川の除石・支障木伐採が実施された。(南木曾中学校横)

【河川維持事業】……………与川1区(向田橋上流)の支障木伐採が実施された。

【木曾川治水対策】……………河川整備計画が未策定となっている木曾川に早期計画策定を定めること、既存ダムを活用した事前放流や流域治水への取り組みなどについて、木曾郡町村会を通じて長野県建設部、国交省水管理保全局、中部地方整備局、木曾川上流事務所等へ要望を繰り返し実施した。

(3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

【国道256号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の3市町村で構成し、要望活動を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和2年9月11日 長野県へ要望活動
- ・令和3年2月24日 関東地方整備局長野国道事務所へ要望活動
- ・令和3年2月25日 関東地方整備局、衆参議員、国土交通省、財務省へ郵送要望活動

【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町2市町で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和2年9月11日 長野県へ要望活動
- ・令和2年11月24日 岐阜県へ要望活動
- ・令和3年1月18日 飯田国道事務所、多治見砂防国道事務所へ要望活動  
(雨量規制区間の解除に向けた整備を要望した。)

【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：大桑村)

【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町で同盟会を結成し、要望活動等を行った。(事務局：飯田市)

【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：大桑村)

【木曾地域国道19号整備促進期成同盟会】

郡内6町村と塩尻市で構成し、改良促進を中心に要望活動を行った。(事務局：木曾広域連合)

(4) 町道台帳整備

	3年3月末	2年3月末	増減
道路実延長 (m)	164,525	163,277	1,248
改良済延長 (m)	98,796	97,502	1,294
舗装済延長 (m)	118,770	117,523	1,247
自動車通行不能道延長 (m)	39,875	39,904	△29
橋梁数 (箇所)	209	207	2
うち永久橋 (箇所)	163	161	2

(5) 諸申請手続き

① 河川法申請関係	19件
② 町道自営工事申請	5件
③ 町道使用申請	101件
④ 砂防法申請関係	2件
⑤ 急傾斜地法申請関係	0件
⑥ 国道・県道通行制限通知	74件

(6) リニア関連工事

町道棚橋線道路拡幅工事

自営工事期間 令和2年8月20日～令和3年7月31日(竣工検査 令和3年7月27日)  
 施工概要 設計延長 L=199.8m、幅員 W=6.5m(0.5+2.75+2.75+0.5)  
 軽量盛土ブロック L=147.7m  
 水路延長 L=224m (自由勾配側溝 300L=202.3m、台付管 L=21.7m)  
 モルタル吹付工 A=96 m<sup>2</sup>

町道起線道路自営工事

自営工事期間 令和3年3月15日～令和3年8月31日  
 施工概要 鉄板敷 L=329m 待避所 6箇所

令和2年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町道補修	町内一円	町道補修52箇所	9,964					9,964	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(グレーチング・舗装補修材等)	416					416	
調査委託	川向下線 額付環状線	FWD調査	1,144					1,144	
土木小規模補修	町内一円 57箇所	ポットホール	4,805					4,805	
沼田線舗装工事	読書	工事	836					836	
防護柵設置工事	町内一円 天白住宅線	工事一式 監理	1,993					1,993	
道路愛護作業補助金	町内一円 45地区	道路愛護作業	1,040					1,040	
その他		重機使用料、消耗品費	144					144	
合計			20,342					20,342	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、 附属物点検業務、	1,991					1,991	
合計			1,991					1,991	

道路舗装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川沢線舗装 (辺地)	与川	工事L=162.0m、監理	14,744		14,000			744	
口広瀬寺線舗装 (辺地)	広瀬	工事L=278.8m、監理	14,656		14,000			656	
合計			29,400		28,000			1,400	

国土強靱化事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線防災工事 (防災・減災・国土強靱化)	与川	工事A=810.3㎡、調査 設計、資材価格調査	11,047	6,119	4,600			328	社会資本整備 交付金 R3～繰越 73,051千円
合計			11,047	6,119	4,600			328	

道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
蘭線道路改良(過疎)	蘭	測量設計・監理	5,147		5,000		147	
向栗畑線道路改良(その2)	向栗畑	測量図作成	220				220	
大原線道路改良	読書	用地測量	1,287				1,287	
島の平線道路改良	読書	概略設計	495				495	
合計			7,149		5,000		2,149	

補助道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
妻籠町中線・中山道	妻籠	発掘調査業務	462				462	
合計			462				462	

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
融雪剤・砂塩配布業務	町内一円		523				523	
町道除雪作業委託料		与川3区 下り谷 橋場 本谷	149				149	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 600袋	1,140				1,140	

融雪剤散布業務	町内	609							609	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 6箇所	1,967							1,967	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	30,889	1,576						29,313	社会資本整備 交付金
町道滑り止め用砂購入代	町内一円 63箇所	129							129	
合計		35,406	1,576						33,830	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

### 県営工事付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
県関連事業 (桂川砂防事業)	広瀬	用地取得、立木補償	2,535					2,535	
その他 国県関連事業	牧平線他	側溝整備、舗装修繕	1,408					1,408	
合計			3,943					3,943	

### 河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
伊勢小屋沢・単沢 河川環境整備 地蔵沢補修	左記のとおり	河畔木伐採、陥没補修	775					775	
長根川河畔林整備工 事	長根川	河畔木伐採	3,025		2,700			325	
合計			3,800		2,700			1,100	

橋梁維持経費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
橋梁点検事業	町内一円	点検36橋	21,269	12,540		8,000		729	
	大水上跨線橋	橋梁点検 JR架線防護・停電業務	4,650	2,821		1,700		129	(国庫支出金) 道路メンテナンス 事業補助 (過疎債)
	地蔵沢橋・漆畑橋 119号橋	工事 監理	4,993	5,831		4,200		66	
宮の沢橋・井戸沢橋	設計調査	5,104							
橋梁補修事業	桃介橋(その2)	工事 監理	4,248			4,200		48	(過疎債)
	岩倉橋	測量調査・河川協議資料	924					924	
	大洞橋	概略設計	1,265					1,265	
	切越橋	高欄補修	98					98	
合計			42,551	21,192	18,100			3,259	

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
道路災害復旧事業（6月11～14日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	北部1箇所 三留野4箇所 妻籠2箇所 蘭1箇所 広瀬1箇所 田立5箇所	流出土撤去、倒木処理 法面整形 応急対応 復旧工事費・監理	4,355				4,355	
道路災害復旧事業（6月30日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	与川1箇所 広瀬1箇所	落石除去 路面補修	259				259	
道路災害復旧事業（7月8日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	北部1箇所 広瀬2箇所 田立2箇所	土砂撤去、路肩補修 倒木処理、陥没処理 暗渠閉塞補修	1,086				1,086	
道路災害復旧事業（7月21日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	妻籠3箇所	流出土撤去、舗装補修 陥没補修	1,152				1,152	
道路災害復旧事業（7月28日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	北部2箇所 蘭1箇所	法面補修 陥没補修 崩落土撤去	1,633				1,633	
合計			8,485				8,485	

単位：千円

災害復旧事業（現年度災害 国庫）

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
道路災害復旧事業									
和合妻籠線災害復旧工事	渡島	工事 L=7.5m 監理	6, 1 0 9	3,052		1,500		1,557	
合計			6, 1 0 9	3,052		1,500		1,557	

単位：千円

道路舗装事業（令和元年度からの繰越分）

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
栢其溪谷線改良工事 (過疎)	本谷	工事 L=47.0m 工事・監理	4, 6 8 7			4,500		187	
合計			4, 6 8 7			4,500		187	

単位：千円

道路新設改良事業（令和元年度からの繰越分）

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
向栗/畑線道路改良（その2）工事 (辺地)	元組	工事 L=63.0m 工事・監理 用地補償	1 2, 5 1 4			11,800		714	
合計			1 2, 5 1 4			11,800		714	

橋梁維持経費（令和元年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
本谷第1号橋他1橋修繕工事に伴う調査・設計業務 (過疎)	本谷1号橋(蘭) 歴史の道27号橋 (与川)	詳細設計一式 監理	5,185	2,490	2,600		95	防災・安全交付金
桃介橋補修工事 (過疎)	桃介橋	工事橋柱2基 監理	15,413		15,000		413	
合計			20,598	2,490	17,600		508	

国土強靱化事業（令和元年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
沼田線防災工事	沼田	工事一式 監理	34,477	18,240	16,000		237	防災・安全交付金 (強靱化)
合計			34,477	18,240	16,000		237	

## 同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防推進協議会負担金	200,800	推進協議会（事務局 大桑村）
河川協会負担金	8,000	河川協会
全国治水砂防協会負担金	150,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会
県道路整備期成同盟会負担金	130,500	
中津川南木曾県際道路改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策連絡協議会負担金	3,000	
木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会	125,000	同盟会（事務局 大桑村）
合計	877,300	

## 2. 住宅関係

### (1) 町営住宅管理状況

\* 住宅及び入居者の状況

R3. 3. 31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	70	62	5	6	61	4	5
特定公共賃貸住宅	16	16	3	3	16	0	0
地域優良賃貸住宅	6	6	2	2	6	0	0
町営単独住宅	19	17	1	1	17	0	2
ユーアイ住宅	42	41	9	10	40	2	0
合計	153	142	20	22	140	6	7

#### ◎教育委員会管理

教職員住宅	30	28	4	9	23	7	0
-------	----	----	---	---	----	---	---

\* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納欠損額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優賃住宅)	20,666,300円	20,512,700円	0円	153,600円	99.26%
	(全住宅駐車場)	398,000円	390,000円	0円	8,000円	97.99%
財産収入	(教員住宅)	5,499,700円	5,499,700円	0円	0円	100.00%
	(ユーアイ住宅)	18,436,000円	18,053,400円	0円	382,600円	97.92%
	(町営単独住宅)	3,861,400円	3,656,400円	0円	205,000円	94.69%
過年度収入		4,019,400円	1,268,500円	633,300円	2,117,600円	31.56%
計		52,880,800円	49,380,700円	633,300円	2,866,800円	93.38%

#### ※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

#### ※住宅維持補修

令和2年度末において、環境住宅係で管理している住宅は153戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め69件4,478千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については41件1,577千円の維持補修を実施した。

### (2) 住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

### (3) 住宅建設の状況

#### ・ユーアイ住宅

読書住吉地区、ユーアイ住宅住吉団地建設工事及び監理業務委託(R3へ繰り越し)

(4) 住宅改善の状況

・町営住宅改善事業

ユーアイ住宅越野団地改修事業

ユーアイ住宅越野団地 2 棟 4 戸

(別紙詳細)

・公営住宅新町団地屋根塗装工事

公営住宅新町団地 2 棟 4 戸

(別紙詳細)

(5) 住宅除却の状況

・町営住宅除却工事

町営住宅下切団地 1 棟 1 戸

(別紙詳細)

(6) 諸申請手続き

・建築工事関係

建築工事届 (床面積 10 m<sup>2</sup>以上)

10 件

建築確認申請書 (延べ床面積が 500 m<sup>2</sup>など)

1 件

建築物除却届 (床面積 10 m<sup>2</sup>以上)

10 件

(7) 木造住宅耐震改修補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・耐震診断 (国・県・町で診断料を負担)

2 件

・耐震改修・補強工事 (工事費の 1/2 以内で上限 100 万円を補助)

0 件

(8) 住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

・令和 2 年度分

申請件数

6 件

総事業費

19,289 千円

補助対象工事費

10,395 千円

補助金額

1,039 千円

内商品券額

312 千円

別紙（事業実績）

（令和2年度実施事業）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
ユニーアイ住宅建設事業	読書 住吉団地	1棟4戸	建設工事	41,140				41,140		R3へ繰越 41,140千円
〃	読書 住吉団地	1式	設計業務	594				594		R1から繰越 594千円
〃	読書 住吉団地	1式	監理業務	682					682	R3へ繰越 682千円

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町営住宅改善事業 （ユニーアイ住宅）	田立 U I 住宅 越野団地	2棟4戸	外壁改修工事 設計監理業務	5,198					5,198	
〃 （公営住宅）	読書 公営住宅 新町団地	2棟4戸	屋根塗装修繕工事	2,398					2,398	
町営住宅除却工事	田立 下切団地	1棟1戸	除却工事	1,210					1,210	

### 3. 環境関係

#### (1) ごみ処理関係

##### ①可燃ごみ

令和2年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は480.7tで、前年度より7.3tの減少となった。

木曾クリーンセンターにおける南木曾町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は584.6tで、昨年度より29.3tの減少となった。木曾クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定め、令和2年度の実績で、木曾郡全体で463t、南木曾町では114tの減量が必要となり、木曾全体で連携してごみの減量・再資源化（3R・2R）への取り組みが必須となっている。引き続きごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
町内収集分	457.0	474.6	458.1	488.0	480.7
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	531.1	555.1	566.8	613.9	584.6
ごみ排出量対前年度増減	-12.2	24.0	11.7	47.1	△29.3
令和2年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
令和2年度排出目標値達成率	87%	85%	83%	77%	81%

※木曾クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

##### ②生ごみ

令和2年度が生ごみ排出量は100.0tで、前年度より4.1tの減少となった。

木曾クリーンセンターと連携して、分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
生ごみ	117.7	115.3	108.2	104.1	100.0

##### ③不燃ごみ

令和2年度の不燃ごみ排出量は50.3tで、前年度より7.2tの増加となった。

集団回収や再資源化分別収集の排出量も増加しており全体的に排出量が増加したものと思われる。

##### 【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
金物類	18.3	18.4	19.3	20.2	22.3
ガラス類	18.4	20.6	20.8	22.9	28.0
合 計	36.7	39.0	40.1	43.1	50.3

##### ④資源ごみ

資源びん・ペットボトル・発泡スチロール、蛍光管、プラスチック製容器包装、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、新聞、アルミ缶、牛乳パック、ビールびん等を保育園、小・中学校PTA等の集団回収で実施している。

資源集団回収の実績に応じて4団体に「南木曾町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
ダンボール	78.9	80.5	84.8	83.6	82.3
雑誌・雑がみ	29.2	29.0	30.7	28.1	26.4
資源びん	31.1	30.5	27.7	27.0	25.2
ペットボトル	11.5	11.2	11.5	11.5	10.4
発泡スチロール	2.8	2.7	2.8	2.7	2.5
プラスチック製容器包装	29.6	31.0	28.3	30.5	26.3
古着・古布	7.6	7.0	7.2	7.5	10.1
合 計	190.7	191.9	193.0	188.2	183.2

○資源集団回収

実施団体：南木曾小PTA・南木曾中PTA・田立子どもと歩む会・ひだまり工房

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg、ビン類：本、交付額：円)

種 類	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	回収量	奨励金交付額	回収量	奨励金交付額	回収量	奨励金交付額	
紙類	新聞	73,900	221,700	72,160	216,480	60,100	180,300
	雑誌類	60,120	240,480	65,720	262,880	66,130	264,520
	ダンボール	16,860	50,580	16,760	50,280	14,140	42,420
牛乳パック	1,290	3,870	1,250	3,750	1,440	4,320	
アルミ缶	4,867	14,601	4,496	13,488	5,030	15,090	
ビン類(本)	1,238	246	377	76	336	67	
合 計		531,477		546,954		506,717	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ等)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ(有料(130円/10kg H27.10.1料金改定))を開始し、受入件数が年々増加している。

・令和2年度布団受入実績 194件 7,950kg(前年度比53件 1,025kg)

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

① 南木曾町衛生自治会

【令和2年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	0回		5月8日 書面決議 承認51名
役員会	3回	役場	4月10日、9月4日、3月5日
町内一斉清掃	1回	町内	春季 感染予防の為中止 9月27日(可燃ごみ 120kg 不燃ごみ 110kg)
委員研修	1回	木曾町	10月15日 「木曾クリーンセンター」・「上田プレスセンター」(15名出席)
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん・ペットボトル・発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

② ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、前期6名、後期6名を雇用し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】

(単位:個)

回収品目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
缶類	4,010	4,490	4,067
びん類	322	375	259
ペットボトル	4,888	5,409	4,892
可燃ごみ	185	176	177

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
出動日数	204日	233日	223日
延人数	418人	461人	446人
延時間	1,254H	1,351H	1,396H

③ 不法投棄防止関係

町が加入する木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、「道の駅大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に毎年参加しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

また、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施しているが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となった。

(3) し尿・火葬関係

① し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
汲取り量	725K L	695K L	694K L
汲取り手数料	8,343千円	8,158千円	8,208千円
浄化槽汚泥量	3,029K L	3,315K L	3,373K L
浄化槽清掃手数料	32,407千円	36,419千円	38,024千円

② 火葬関係(緑聖苑)

【火葬場使用件数等】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
火葬場使用件数	51件	32件	32件
火葬場使用料	765千円	502千円	512千円
霊柩車使用件数	51件	32件	32件
霊柩車使用料	1,370千円	903千円	900千円

(4) 墓地の許可関係 (届け出数)

①墓地	経営許可：1件	廃止許可：8件	改葬許可：9件
②納骨堂	経営許可：0件	廃止許可：0件	

(5) 霊園分譲関係 (神戸霊園)

未分譲区画	2区画 (2年度分譲実績0件)
返還	0区画
使用権譲渡	1区画
年度末未分譲区画	2区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	306頭	年度内注射済頭数 (前住地接種含む) ※1	283頭
死亡等抹消頭数	41頭	未接種頭数※2	19頭
新規登録数	13頭	新規登録手数料 (@3,000×13頭)	39,000円
転入登録数	3頭	注射済証交付手数料 (@550×283頭)	155,650円
年度末 畜犬登録数	281頭	鑑札再交付手数料 (@1,600×0頭)	0円
		計	194,650円

- ※1 注射済頭数内訳 集合春：210頭、集合秋：22頭、訪問：8頭、来院：43頭  
転入：0頭 (年度内前住所地接種済) 計283頭
- ※2 未接種頭数内訳 老病等：6頭、不詳：13頭 計19頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模 (事業区域面積500㎡) 以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

件数	法人 1件 (妻籠地区1件)
	個人 0件

(8) 地球温暖化対策関係事業

国が進める地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に賛同し、省エネや行動など温暖化対策に資する選択を一人ひとりができるところから取り組んでもらうことを目的に、パンフレットの窓口掲示による普及啓発を実施した。

(9) リニア関係

◎リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査の実施

① 長野県移動コンテナ局による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
3月18日～3月18日 (1年間)	妻籠地区	第三駐車場

② 水質、水量等の独自調査の実施

町独自調査として水文調査を実施した

事業名	調査期間	実施個所	実施回数	事業費	委託先
南木曾町 水文調査業務	4月1日～ 3月23日	河川 5カ所 井戸 1カ所	12回	871,200円	一般財団法人 中部公衆医学研究所

## 4. 上下水道関係事業

### (1) 簡易給水施設関係

#### ①簡易給水施設整備助成（事業費の90%） （単位：円）

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	坂本平水道	配水管布設替	74,000
2	十二兼水道	ろ過砂購入、旧給水管撤去	126,000
3	向田水道	導水管バルブ取付、取水施設整備、取水施設清掃	264,000
4	大高取水道	沈殿槽清掃	168,000
5	南野水道	管理道土砂片付け（災害復旧のため100%補助）	176,000
6	柿平水道	送水管清掃	54,000
7	夏焼水道	管理道修繕（災害復旧のため100%補助）、取水施設整備	1,651,540
8	胡桃田水道	ろ過砂購入	54,000
合 計			2,567,540

#### ②簡易給水施設水質検査

町内17ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（129,030円）については町が負担を行っている。

検査機関 （財）中部公衆医学研究所

#### \*小規模水道 人口・戸数一覧表

（令和3年3月31日現在）

（小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称）

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	向田水道	簡易給水施設	与川一区	4	9	ささら沢	表流水
2	柿平水道	飲料水供給施設	与川一区	15	46	干沢（ひざわ）	表流水
3	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	18		表流水
4	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	8	18	カツラ洞	表流水
5	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・馴区	23	52	沼洞	表流水
6	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	20	久保洞	湧水
7	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	9	大沢の支流	湧水
8	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	9	27	ナシノキ沢	表流水
9	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	12	32		湧水
10	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼	13	34	熊ノ沢	表流水
11	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	25	新山沢	湧水
12	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	5	14	日陰洞	表流水
13	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	10	22	倉洞	湧水
14	上の原下6戸水道	簡易給水施設	上の原	6	22	白島沢	湧水
15	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	6	12	井戸沢	表流水
16	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	14	大明神沢	表流水
17	三軒家水道	簡易給水施設	上在郷	3	5	水上沢	表流水
18	夏焼水道	簡易給水施設	富貴畑	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
19	富貴畑水道	簡易給水施設	富貴畑	1	1	カンツ洞	表流水
合 計				145	387		

※個人水道（簡水給水区域内を除く） 26戸・58名

③小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（18組合中18組合より回答）。

④令和2年度胡桃田水道取水施設設置工事（令和3年度へ繰越）

工事費 17,050,000円（請負者：(株)名工土木）

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和2年度の設置実績なし。

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳 (単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
0	0	0	0	設置補助金

②人槽別設置補助金額 (単位：円)

人槽の区分	補助金額
5人槽	332,000
6～7人槽	414,000
8～10人槽	548,000
11～20人槽	939,000
21人槽以上	1,472,000

③排水設備改造資金関係

◎貸付限度 … 1世帯1件とし、100万円以内で10万円単位

◎償還期間 … 5年以内

- ・金融機関預託額
 

八十二銀行南木曾支店	1,000千円
J A木曾南木曾支所	2,000千円
- ・貸付実績
 

(新規分)	なし
(継続分)	八十二銀行南木曾支店 1件
- ・年間利子補給額
 

0件	0円
----	----

※令和2年度末をもって、南木曾町排水設備改造資金貸付業務終了

